

第3号 会報

めいおんの会

発行 平成24年3月14日

「めいおんの会」(名音大出身名古屋市教員の会)

事務局 名古屋市緑区大清水四丁目522

TEL・FAX (052) 877-1243

発行責任者 会長 百合草 薫

回顧・「めいおんの会」

顧問 浅田 邦穂 (前教職指導室・現非常勤講師)

「めいおんの会」設立3年目を迎えたのですね。発足当時を思い起こすと感慨深いものがあります。

「めいおんの会」設立は前年に会ったひとつの言葉がきっかけになりました。

新聞社主催のセミナーでした。「大学における教職指導のこれから」についてのシンポジウムで昭和女子大学学長 坂東真理子さんが話されたひとつの言葉でした。それは、「日本の学生は社会に出てから生かせる学びと、準備ができていない。」

当時、この言葉を大変重く受け止めた覚えがあります。教職指導上の課題として消えることはありませんでした。言葉の裏を返せば、「日本の大学は学生が社会に出てから生かせる学びと準備をさせているのか?」という問いに聞こえました。教職に関しても「大学を卒業して学校現場で生かせる学びと準備はさせているのか?」という問いを投げかけられた思いでした。

そんな折、教師として学校現場でがんばる卒業生たちから悩みの声がかなり寄せられました。変化の激しい学校現場は課題山積状態です。当時、教職指導にかかわった者として大学の指導の足りなさを卒業生から教えられる貴重な声でした。

音楽の授業、学級経営、生徒・生活指導、進路指導、職場の人間関係等々に関するもの、自分の生き方、人生設計に関するものなど様々でした。

自分で立ち向かい考え解決すること、それは勤務する学校の問題、と言ってしまえばそれまでです。混沌とする教育界です。学校事情は様々、職員も様々、卒業生の事情も様々な中で、名音(めいおん)の卒業生が教員として悩みを抱えた時、気安く教育や音楽に関する思いや悩み、生き方までも話せる人間的つながりがほしいという思いに至りました。

名音(めいおん)卒業で教職に就いている人はかなりの数になります。名音(めいおん)の貴重な人的財産を眠らせておく手はありません。「卒業生同士がゆっくり人間的なつながりをつくっていくことで何かが変わる」と考えたのです。

まず名古屋から、教職に関わる卒業生同士の交流を図る場として「めいおんの会」設立に向けた準備の年が2008年のことでした。百合草会長を中心に、当時の事務局の先生方の並々ならないご尽力をいただき、見事に立ち上がりました。

今、「めいおんの会」設立3年目を迎えました。同窓であることをきっかけに、人間的、音楽的に多くの先生とつながってってください。名音(めいおん)卒業の先生方が勤務校にとってかけがえのない存在として活躍されることを願っています。

母校名音(めいおん)も時代の流れに適應できるよう新しく変わっていきます。後輩たちが先生方を目標にして、教師を目指して勉強しています。4月から新任として仲間に入れていただく者もいます。出会いがありましたら、一声かけてやってください。お願いします。

会員の活躍 本年度、音楽関係の部活動で上位入賞に導かれた会員の先生方を紹介します。

NHK全国学校音楽コンクール

- ◇小林 千加（吉根小・2卒）＜市＞金賞 ＜県＞銅賞
- ◇多羅尾恵美（牧の池中・11卒）＜市＞金賞 ＜県＞銅賞
- ◇湯浅ひとみ（久方中・16卒）＜市＞銅賞

愛知県合唱コンクール ◇多羅尾恵美＜県＞銀賞

CBCこども音楽コンクール ◇多羅尾恵美＜重唱の部・中部決勝＞優秀賞

愛知県吹奏楽コンクール

- ◇中西 功（平田中・61卒）＜市＞銀賞 ◇小出 信穂（港南中・16卒）＜市＞金賞
- ◇長田 彩（日比野中・17卒）＜市＞銀賞 ◇石村 佳愛（高杉中・22卒）＜市＞銀賞
- ◇筒井 明子（新郊中・22卒）＜市＞銀賞

中部日本吹奏楽コンクール ◇小出 信穂＜本選＞準優勝

※ 事務局への連絡、各種コンクールHP、音楽雑誌等の情報を基に、指揮をされた先生を中心に掲載しました。このほかにも指揮はされていませんが、日頃の指導や運営に携わり、上位入賞に尽力された先生も多数おられます。

金賞への道①

合唱へ懸ける想い

吉根小学校 小林 千加（2卒）

吉根小学校開校から合唱部を創り、5年が過ぎようとしています。当初は、区の連合音楽会に出演する半年間活動するだけの部活動でした。発声も上手くできないまま終わってしまい、また翌年、一から創り上げていかなければならない状態でした。しかし、子どもたちの「もっと歌いたい。」という声から、年間通して活動するようになり、NHKのコンクールにも挑戦するようになりました。昨年初めてのコンクールでは、2曲同時に仕上げていく難しさを知り、完成させることができませんでした。今年、名古屋地区予選金賞、県コンクール銅賞を頂くことができました。

コンクールへの挑戦はわからないことが多かったのですが、講習会に参加したり、他の学校の様子を聞いたりして、「やれることは全てやってみよう。」と、発声やハーモニー・楽曲分析など、妥協しないで追究していきました。とはいっても、週3日の5時までという短い練習時間の中でできることは限られていましたが・・・。

まだ未熟な部分が多いのですが、ハーモニーの美しさから、合唱の楽しさ・奥深さを感じています。これからも、音楽を追究していく楽しさを、私自身も感じながら、子どもたちと共に成長し、感動できる合唱を目指して頑張っていきたいと思っています。

平成24年度 総会・研修会・懇親会のお知らせ

日 時	平成24年8月26日(日) 10:30~15:00
会 場	名古屋音楽大学 総会・研修会 (めいおんホール)、懇親会 (学園食堂)
講 師	名古屋音楽大学教授 金山正一先生、同教授 水谷榮子先生
研修会内容	お二人の先生にピアノデュオをしていただく予定です。

《編集後記》 本年度創刊した会報「めいおんの会」も第3号となりました。今回は会員の活躍を中心に編集しました。会報を通して会員同士が連絡を取り合うきっかけとなり、つながりが広がっていくことを願っています。この1年間、本会にご協力いただき、ありがとうございました。